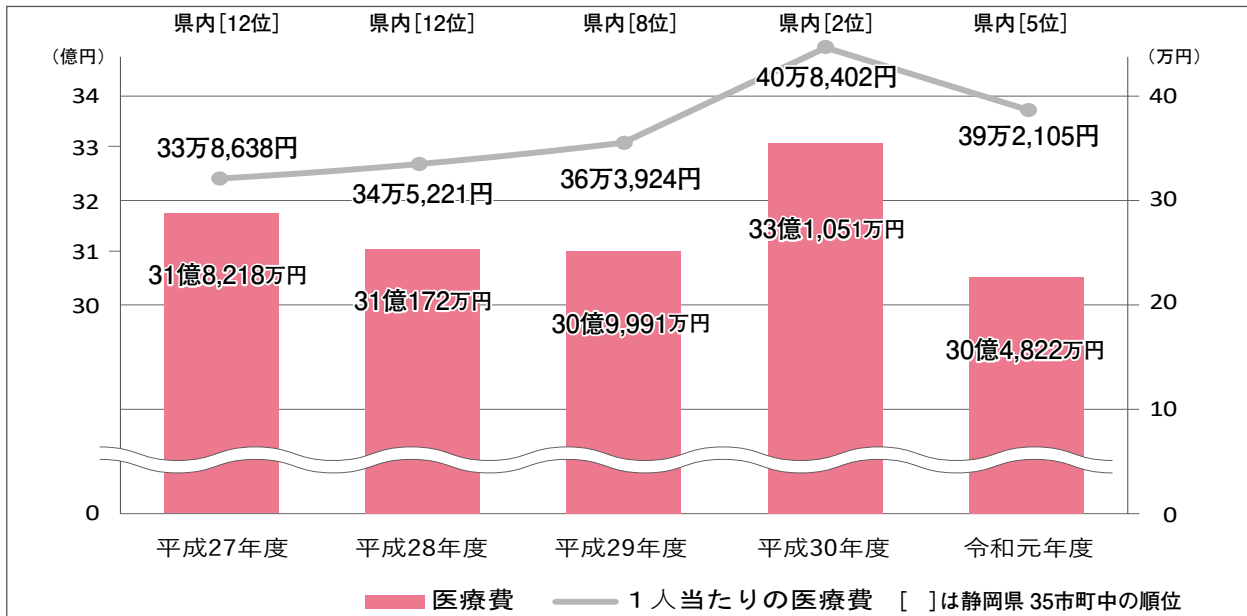
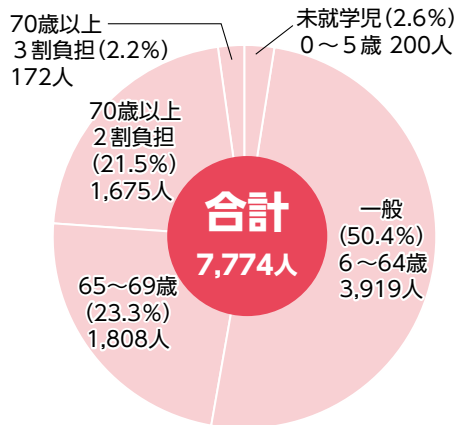


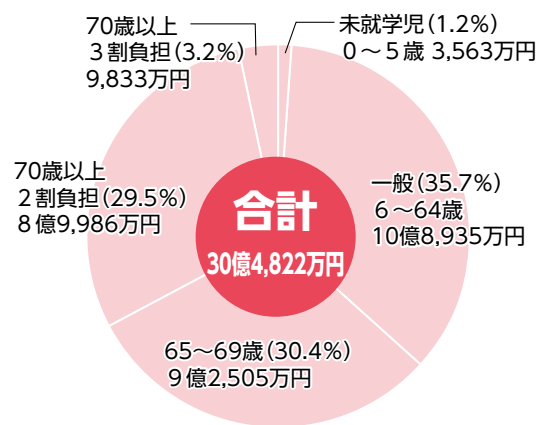
■国民健康保険の総医療費と一人当たりの医療費の推移



■各年齢区分別の加入者数・医療費の内訳



年令別年間平均加入者数



年令別医療費

※医療費…入院、通院、歯科、調剤、訪問看護、療養費などの費用。その8割または7割を市国保が負担しています。

医療費を削減するために

「健康寿命」という言葉をよく耳にする昨今ですが、人生の目標に「健康で長生き」を掲げている人も多いのではないのでしょうか？

「健康寿命」を伸ばすためには、病気がならないことが大切です。病気が重症化することと、医療費が高くなることとが予想されます。自分の体調を確認できる健診を定期的に行い、早期発見、早期治療を受けて、病気の重症化を防ぎましょう。

① 健診を受けよう

◆ 特定健康診査

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の該当者や予備軍を早期発見し、特定保健指導を受けることで糖尿病、高血圧症、高脂血症、肥満症などの生活習慣病の重症化を防ぎます。

◆ 人間ドック補助

病気の早期発見、早期治療を目的に人間ドック検査費用の一部を助成します。

対象者 一年以上国保に加入しており、国保税の滞納がない人

助成額 2万円

◆ 脳ドック補助

脳血管疾患やその他脳疾患の早期発見、早期治療を目的に脳ドック検査費用の一部を助成します。

対象者 一年以上国保に加入しており、国保税の滞納がない人、人間ドック、特定健診を受けている人

助成額 1万円

② かかりつけ医・かかりつけ薬局を持つ

かかりつけ医やかかりつけ薬局に、ご自身の体や服薬管理について相談することで、重複受診や多剤服薬を防ぐことができます。

③ ジェネリック医薬品の利用

ジェネリック医薬品は最初に作られた薬と成分や効き目、安全性が同等であると認められている医薬品であり、低価格です。かかりつけ医・かかりつけ薬局に相談して利用することができます。

大切な人のためにも
健診を受けよう

